

大分高専2年生と見る大分港 ～現場見学in大分港～

令和4年6月29日(水)、大分工業高等専門学校44名と「令和3年度大分港(大在西地区)岸壁(-9m)地盤改良工事(第2次)」の現場見学会を開催しました。

◇スケジュール◇

- ①開催挨拶
- ②事業概要説明
- ③工事現場見学・地盤改良工法・消波ブロック工法の説明等
- ④閉会挨拶



事業概要を説明



事務所の概要や港湾整備について資料を用いて学生の皆さんにわかりやすく説明をしました。

大在西地区は、複合一貫輸送ターミナル整備事業として、大分港における貨物需要増大に伴うRORO船の大型化等に対応するため、岸壁の整備、泊地の浚渫等の港湾施設の整備をしており、その一環として現在、岸壁の耐震化及びケーソン据え付けに伴う沈下防止対策として地盤改良工事を行っています。

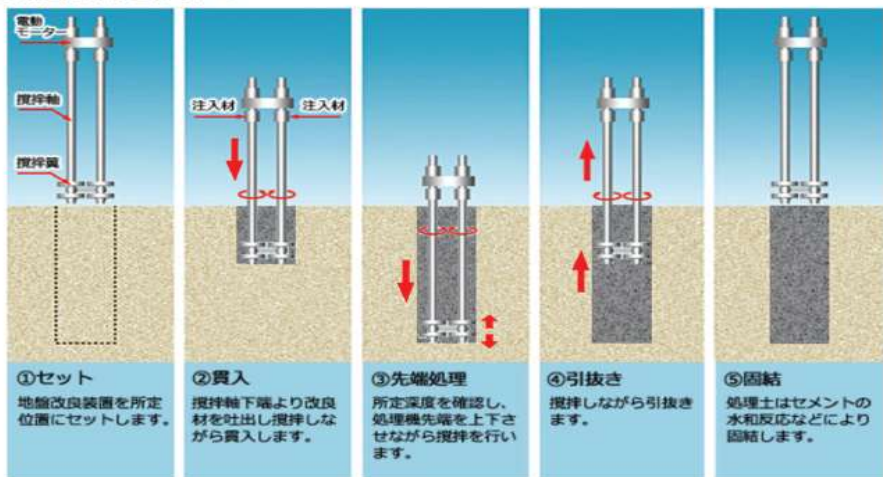


ここからは海上組と陸上組に分かれて見学!

海上組

交通船に乗り大在埠頭から海上の現場へ向かい、普段見ることのできない工事現場を間近で見ました。深層混合処理船(CDM船)の仕組みや、工事施工サイクル等の説明を聞きました。

■CDM工法の施工サイクル



参考—CDM研究会HP <http://cdm-gr.com/what/index.html>

CDM船の全景



海上地盤改良CDM船の見学

地盤改良の仕組みは・・・



本田所長

めちゃめちゃ大きいな...



地上組

地盤改良工法について学んだ後は、海岸を再現したミニ水槽を用いて実際に自分たちで消波ブロックを並べ、効果を体験しました。

地盤改良工法の説明



消波ブロックの効果を体験



消波ブロックの大きさが分かった！



最後にみんなで
「はいっ！チーズ📷」



～感想～

今回の現場見学会を通して、学生たちは普段見ることの出来ない工事現場を間近で見ることができ、多くの質問が飛び交うなどとても興味津々の様子でした。

また、普段学校で勉強していることが実際にどのように役に立つものなのか実感してもらえたのではないかと思います。熱中症やコロナウイルスなど、とても心配される状況でしたが、万全の対策でのぞみ、無事に終えることが出来ました。今回の現場見学会で、少しでも土木の仕事に興味を持ってくれたらと思います。